

競技注意事項

1. 本大会は、2018 年度日本陸上競技連盟競技規則、大会要項及び競技注意事項に基づいて行う。

2. 競技者の招集について

- ①招集所は、100m スタート地点付近に設置する。
- ②招集開始・完了時刻は競技日程に記載のとおりとし、競技者は招集所で点呼を受ける。代理人による点呼は認められず、招集に遅れた場合は棄権とみなす。
- ③リレー競技は、当該レース第1組の招集完了時刻 60 分前までに招集所(競技者係)にリレーオーダー用紙を提出する。
- ④同一時間帯に複数の種目に出る場合は、招集所(競技者係)に重複出場届を提出する。フィールド競技の競技開始前の練習、競技規則第 142 条3による試技の変更は、競技者本人が当該種目の担当審判員に申し出る。

3. ナンバーカードについて

- ①ナンバーカードは、各自準備する。なお、ナンバーカードの地色は白とし、数字の色は男女共に黒とする。数字は太く、濃く描き、競技役員に見えやすいものとする。
- ②ナンバーカードは、胸と背に確実につける。ただし、跳躍種目は胸又は背のどちらか一方で良い。トラック種目出場者は、招集の際に配布する腰ナンバー標識をパンツの右側につける。
- ③3000m、5000m 及び 5000mW は特別ナンバーを使用する。プログラムに記載されているオーダーの番号(1、2、3～)を各自準備する。

4. 競技について

- ①スターターの合図は英語で行う。
- ②トラック競技の計時はすべて電気計時(1/100 秒)とする。
- ③5000m 及び 5000mW は給水を行う。
- ④フィールド競技で対校及びオープンを同時に行う場合、試技順は対校、オープンの順とする。
- ⑤高さの跳躍競技のバーの上げ方は当日、選手と競技役員との間で決定する。
- ⑥長さの跳躍競技及び投てき種目のオープンの試技数は3回とする。
- ⑦三段跳の踏切板の位置は、砂場の近いほうの端から 11m とする。

5. 棄権について

エントリー後、病気又は事故等により、やむなく棄権する場合は招集完了時刻までに招集場所に申し出る。ただし、代表者会議で申し出ている場合はその必要はない。

6. 対校競技者と補欠競技者の入れ替えについて

代表者会議(大会 2 日前)終了までの間は、対校競技者と補欠競技者の入れ替えを行うことができる。大会当日は、いかなる理由でも入れ替えを認めない。

7. 得点及び表彰について

- ①対校得点は、各種目とも 1 位 8 点、2 位 7 点、・・・、8 位 1 点とする。ただし、エントリー時点で 8 名未満の種目は、1 位にエントリー数に等しい得点が与えられるものとする(例:エントリー時点で 7 名の場合は、1 位 7 点、・・・、7 位 1 点)。また、同順位により対校得点を割る場合には小数計算を行う。
- ②総合の部、トラックの部、フィールドの部の各部門で得点合計の上位 3 校を表彰する。
- ③同点校があった場合は、優勝種目数の多い方を上位とする。それでも決定しない場合、2 位入賞数

の多い方を上位とし、以下、8位までの入賞数で順位を決定する。8位までの入賞数も同数の場合、同順位とする。

8. 表彰について

各種目の表彰式は行わないが、第3位までの入賞者には賞状を贈与する。賞状は、各大学にまとめて配布する。

9. 用器具について

- ①競技に使用する用器具(棒高跳用ポール除く)は、すべて主催者側で用意したものを使用する。
- ②やりの持ち込みについては、他の選手と共用で使用する条件で認める。検査は大会本部にて正午まで受け付ける。

10. 練習について

- ①練習は、競技運営に支障のない範囲で、バックストレートで行うことができる。
- ②跳躍、投てき練習は、競技開始前に競技役員の指示により行う。
- ③競技場外の公園内でウォーミングアップをする場合は、歩行者を最優先とし、他の利用者の迷惑にならないように注意すること。特に、児童遊園、駐車場、あずまや周辺ではウォーミングアップを行わないこと。

11. その他

- ①競技中の事故等による身体の故障の場合、応急処置は行うが、その後の責任は一切負わない。
- ②主催者側で預かった物品については一時保管するが、その他のものについては一切の責任を負わない。
- ③ゴミは各自で持ち帰ること。
- ④競技場は、開門7:30、閉門16:45とする。閉会式終了後は速やかに競技場の外へ出ること。
- ⑤その他、不明な点は大会総務まで問い合わせること。